

1. 件名：東海再処理施設の廃止措置計画変更認可申請に係る面談

2. 日時：令和2年2月12日(水) 16時00分～16時45分

3. 場所：原子力規制庁10階会議室

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部 審査グループ 研究炉等審査部門

細野企画調査官、田中主任安全審査官、有吉主任技術研究調査官、小舞管理官補佐、
堀内安全審査官、内海研開炉係長、佐々木技術参与
長官官房 技術基盤グループ 核燃料廃棄物研究部門
野島技術参与

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

バックエンド統括本部 本部長代理

再処理廃止措置技術開発センター 技術部 次長 他1名

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 配布資料

なし

時間	自動文字起こし結果
0:04:02	規制庁田中です。それでは本日の面倒を開始します。御説明をよろしくお願ひします。
0:04:11	ミウラでございます。本日は先日の介護等を踏まえまして、今後5月に補正をさせていただくということをお話しておりますけれども、そこに向けてを一度お示しをした大体このような趣旨でということに対していろいろなコメントをいただいて、
0:04:30	いろいろご心配いただいているということでおら自身もですね少しまだ検討進めているところがございます、そういった状況をお話をして我々はどういうことを考えているのかということ、それからあとこれから2月中産がちゅうどういう段取りで進めていくのかということの
0:04:47	基礎となりますような我々の今の方向性、これをご理解いただきたいということで参りました。
0:04:53	大きく一つ安全対策ですね、その大地震、津波、これの対応に関してでございますけれども、地震につきましては、これまでの私どもの説明では特に接地率に関することは右折ですね、ハーフ施設の設置率に関すること。
0:05:11	これは割と早い段階でSRモデルでの接地率をこう評価するには適切な領域内ということがわかっておりましたので、地盤改良こういったことも視野に置きながら設計を進めてきた中ですね、三次元の詳細な解析を行うと、その設置率についても満足ができる。
0:05:31	いろいろというような見通しを得た状況の中で、まずその説明をし、かつを地盤補強、これはOOIしないというような説明をさし上げてるんじゃないかと思ひます。その後いろいろ議論をした中で、これまでの決定はしておりませんけれども、
0:05:50	その地盤補強をするというような方向で今議論しております。これにつきましてはやはりそのままFEMの解析三次元の詳細な解析、これは一定のなんて言ひますけれども、
0:06:06	設置率が来許容できる領域にほぼほぼありそうだということの説明は仮にできたとしても、やはり不確定な部分、こういったところで、
0:06:17	課題が残るといいますか、説明し切れない部分がある可能性もある一方で地盤改良をすれば、これは明らかに。
0:06:25	改善の効果があるという中でですね、そういった方向にこれからしたくなっていくというふうに私も考えてます。議論しているところです。その地盤改良の方法なんですけれども、これが初期は割とこういう埋設物があったりとかフェーズがあったりという中で、

0:06:44	薬液を注入してここ低下するという方策を考えていたんですけどもそれはもう具体的に設計の中で実際に現地で薬液注入の試験とかはしてみたところ、これが必ずしもうまくいかないと、それはどうもと土の性質が
0:07:01	粘土質的なところがあったと聞いてます。
0:07:05	これにかわる方法としてはもうやっぱり掘って、コンクリートに置き換えるというような割と大規模な工事が必要なんじゃないかというようなことでこれもある程度の設計を進めて見通しを得てきております。
0:07:21	ただ先ほど言いましたので、埋設物の関係で言いますと一番大きいのが周辺防護区域の境界のフェンスがございまして、今のRETFとHowの間に火報の数も23mのところ、
0:07:38	周辺防護区域の境界のフェンスが置いてその状況で工事ができませんので、そのフェンスをまず移設するというのが順番としては必要だというふうに考えております。これこれもやればできなくはないし、一緒急いでやればそれぞれ期間ができると思うんですが、やはり
0:07:56	我々の経験から言うと、半年ですかってことじゃなくて、2年ぐらい差がなければかかるかな、これの手続きの期間等もございまして、そこは終わり急いでやりたいと思いますけれども、
0:08:08	工事も含めると、数年5年かかるかなということでありましてけれどもをガラス固化もそれなりの期間かかるというようなことを考えれば、十分有効な手だてがないかというふうに議論をしているところです。そういう意味で
0:08:24	そのあたりについてはこれから
0:08:28	周辺部どれぐらいの期間がかかるのかとか、そういったことも含めてご説明をさし上げながら、補正の中身が上期中おかしいですけれども、ということを考えてるかということを追って御説明したいと思っております。
0:08:45	それから津波に関して、こちらはすでにアルファさんで浸水をしないうような形でというような形で形を進めたいというふうにして申し上げている通りでございます。
0:08:58	もともとφが使えるような状況ではないかというふうなことは考えておましてまあそういった説明も考えていたところですけどもそれにはやっぱりあの核的な要素があるだろうとか、或いはそのアルファさんで申請を防ぐというようなことがきちんと説明できれば、それは安心という意味でも十分
0:09:18	大事なことかなと思いますんで、できる。
0:09:21	かどうかということを見極めながらやっていくということで、今のところそのφであれば水圧によるその浸水、これは現状でもを保てるんじゃないかということを考えていたところです。ただφになりますと、南側の開口部の大きなシャッターがある。

0:09:41	ですけれどもそこには水密扉をつけてますが、その周りのところはやはり共同的にALPHAの水圧ではちょっと弱いということでその補強をするというようなことが必要なんじゃないかと考えております。
0:09:56	／水圧までですと、その程度で行けるんですけれども、やはり問題は漂流物になります。これは今のところ 15トンぐらいの漁船を考えたりしてたんですけれども、
0:10:12	かえて小さい株価置いてもうちょっと重たいものを軽自動車でこれが口側で当たる方が影響が大きんじゃないかというようなことを考えておまして、そうすると、今先ほど申し上げた
0:10:27	補強したところから開口部ですけれどもそれ以外の前面ですね、全面的にやはりその補強が要るんじゃないかと。
0:10:35	というようなことを今考えております。これ全面補強になりますと、建物自体が相当重くなってくるというあの 1 回 2 回を内側から相当な差で内場所するというようなことを想定してますけれども、相当重くなると、そうすると既存の耐震これは全体的に見直していくと。
0:10:54	いろんなことになって考え方としては、少しいじり過ぎじゃないか、既存のある程度こうされてからでもいじり過ぎじゃないか。いやそうじゃなくてもその程度だったらいんじゃないかとかそういう工学的ないろいろ判断だと思いますけれども、その議論は今ちょっと残っております。
0:11:11	もう一つの方法として、先般のちょっと唐突ということでご指摘いただいた通りだと思っておりますけれども、その漂流物を建物に当てる前に、止めるということで杭を打ってそれに
0:11:27	ワイヤを張って、その漂流物をストップさせると。これは適切な位置に配置すれば、今言った壁全体の補強せずに対応できるのではないかとというようなことで、そういった案を考えております。
0:11:42	先日御説明 2 月 5 日に御説明させていただいた中身では変な状況をちょっとつけた形で 5 月といったのはその杭くいを打ってこういうことであればということだったんですが、先ほど言いました全体を補強して、
0:12:00	それで耐震をやり直すとなると、これはちょっともうちょっと時間かかってしまうということで、一方で早めにやるということは一つの重要なfactorかなと思おまして、KURIONって、IRというようなオプションを第 1 オプションとしてこういう補正を考えていきたいと思っております。
0:12:20	いうことを非常に舌足らずでしたけれども、御説明させていただいたという経緯です。ただこの策で本当にいけるのかとかさっきも言いました地盤補強をしていく位置と柵との関係とか工事の順番とかいろいろ考えています以上に難しい。

0:12:36	ところがあるということでこれも2月或いは3月初めぐらいには大体結論を出していきなという今検討進めている。
0:12:46	いう状況でございます。
0:12:49	それからあとちょっと違う話になりますけど体制的な話、よろしいですか。こちらにつきましてはまず今曖昧津波とか耐震の件で、相当てこ入れをしていくということを考えておまして、耐震も津波もそうなんです、今日わかりますんでそうなんです、建設部の協力を
0:13:09	相当主体的に入れていこうということを考えてます。
0:13:13	それからあと機構の中でもいろいろ先行施設で
0:13:20	規制庁さんというコミュニケーションをされてきた中で経験のある方いらっしゃいますので、そういう方にも入っていただくということ。それから他のメーカーに関して今はエンジニアリング会社建物
0:13:34	建物そのものというよりはHow施設を主契約で受けた前に記載のですけども、奥州市になってたんですが、そこを経てエンジニアリング会社にもしっかり返していただくというようなことを今、交渉とか調整とかを進めているような状況でございます。
0:13:55	やはり想定はそういった現場の抵抗異例とそれからあとはそれを内部で審査していくプロセス、これも
0:14:06	拠点の審査、それからあと中央安心こういったところも何が不適切だったのかというようなことを検討しまして、ちょっと今具体的には申し上げませんが、そこも含めて改善をしていくということは、速やかにやっていきたいというふうに思っているということでございます。
0:14:23	大体多数過渡プロマネ関係なんですけれども、プロマネも当分非常に大事だと思って私あのえっとバックエンド統括本部ということで機構全体にそういうものを考えていかなきゃいけないなと思ってるんですが、特に再処理の場合には当然必要な
0:14:39	一番必要なところなんですけれども、既存の組織体系の中で、権限、こういったものをどこに置くかってことは明確になっていて、保安規定にもそれは明確になっている、その中でプロマネをこう一つ送つときにきちんと権限を与えてっていうところについてはよく考えなきゃいけないなと思っておまして、
0:14:57	きちんとそういう生活の人を位置づけるということは当然していくつもりですけども、その人1人でやるわけじゃないですねいろんなこれからつくり出す排出推進室、こういったところの連携をさ受けながら落下をサポートを受けながら、
0:15:14	きちんと判断する人が判断していくと、そんな形が見えるように、
0:15:18	ぜひしていこうというふうに考えております。

0:15:22	まず私からも、
0:15:34	規制庁のホソノです。
0:15:38	枚方ぶりに格下げからまともな説明を聞いた感じがして、非常に
0:15:45	まだ安心はできないんだけど、なるほどと1人作業うなずいた感じはしますので、
0:15:54	先ほどその安全対策については、
0:15:57	地盤改良いろいろなやり方があると思います。続いて、もっと早くできる方法もあるかもしれませんので、社内建設部のご協力があると思うんですね、
0:16:11	センコーの例えば原子力発電所を側でもう知見持つてると思いますので、その下には当然総勢5入ってるんでしょうけれども、
0:16:20	そういったところもですね、ちょっと幅広く調査をしていただければなというふうには思いますそうすると下手すると約中もちょっと昔調べたときよりはもっといいものができている可能性もあって、全面的に交換させるよりはゲル化させたほうがいいかもしれないので、そこら辺は少し
0:16:40	調査なり評価をさせていただければなとは思いますが。津浪についてはですね
0:16:47	こういう動作肩書きは何ていうかな。いいですかミウラさんで設定して、
0:16:54	岩田さんのおっしゃる通りでやっぱりdにはですね、ちょっとやっぱ期待できないじゃないかと何度である挟んでDt
0:17:04	レイワの評価をしたほうが私は過大評価になると厄介なのはやはりその漂流物で我々一番懸念してるのはですね、海から或いはその川からですね、その水が入ってくるときに、Cクラスの建物が多過ぎる。
0:17:21	いうことはですね。それでどこまでいわゆる津波シミュレーションを浸水のそのシミュレーションを飛行をかけたときに、その建物自体が本当に期待できるのかどうかとそれずどのぐらいロバストな所織り込んでるのかと、そういったところも込みで本当にその漂流物が
0:17:40	私何となく理解するんでその小さく思い物体が高速で当たるってなるほどなと思いましたが、その小さく思い物体が口側で当たるという定義に包絡されるのかどうかですねその建物の壊れ方が、
0:17:55	心配するのはそのCクラス接するの設備が基礎ごと動くっちゃうのはいないでしょうけども、入ってきてですね建家の中に浸水をしてそのまま力で壁を抜けて、
0:18:10	そのまますぼんと。
0:18:12	二階部分ぐらいが流されてくるっていうのも若干ながら想定して、
0:18:17	するほうがいいのかとかですね、それだからシミュレーションの結果によるでしょうし、理経が計算の結果によると思いますので、そこら辺はぜひ5月末の補正までにですねしっかりと3月か3月までに当たりをつけておいていただけると。

0:18:33	より説明に今の皆さん説明ですね、迫力が増すのかなというふうに思っております。2ポツの2ポツっていうかその体制の話については、
0:18:45	社内で協力体制を築いていただけるというのはまさしく、
0:18:50	なるほどとちやい今までやってなかったのはなぜなんだろうっていうのはちょっとと思いますと思いますと。
0:18:57	ここもやっとその普通の組織になっちゃうのかなっていうふうには思っていて、メーカーのご協力をいただけるということなので、そこら辺も最後はお金の話なのかもしれないけれども、早急にやっていただくと。
0:19:12	あとはプロマネの話はですね私プロマネプロマネって言ってますけども、一番の懸念はですね、おそらく組織上、プロマネにあたるのは多分センター長なんですよ。
0:19:23	彼が何やってるかさっぱりわからない。
0:19:25	っていう不満なんですね。
0:19:27	実際答えるのは永里部長じゃないかと、或いはガラスあつたら今の特徴は六条じゃないかと。
0:19:33	いうふうに思っていて、じゃあ一元的にはボイス誰に聞いてで誰がうんと言え、その組織が多くのかというのがさっぱりわからないんでそれが
0:19:42	最近私もつくづく昔から最初にやらせてしまってもらってますので、思ったんですけども、その
0:19:49	私の不満多分そなんだろうなと思っていて、誰々に来ばこの話が進むのがさっぱりわからないと、昔は誰が誰がしっかり部長クラス2機器ばね、ある程度もうぱぱと答えてくれたのが、或いはうちがあるわけではいつですか。これはいつですみたいな感じになっちゃうと、
0:20:06	永里さんに聞けばいいのかっていうと、本当は多分そうじゃなくて、僕はやっぱセンター長だと思うんですね。今のその保安規定上は本当はセンター長などもですけど、だけど、どうも会議でもらちが明かないっていうのが非常に私としては不安に思ってたんだろうなと今振り返ってみるとですね、そう思います。
0:20:24	ですので、正直ミウラミウラさんにお電話いただければ実は僕保守的に方位だけど、いやいと説明が今クリアな説明ある程度方向性我々聞いて、少しそのを監視チームで
0:20:40	田中委員、いかがですねお話しさせていただいたことがやっとな受けとめてもらえてですね、前にいけるのかなとちょっと何となく心をちょっと安心したというのが実際、いいですし、
0:20:58	以上経ったら、
0:21:01	いうふうに
0:21:02	カラオケ

0:21:08	規制庁田中です。
0:21:11	今御説明した内容で会合の趣旨から言うと、ミウラさんからの御説明あった通り、不確定な部分をできるだけクリアするっていう意味で我々が求めていたのは、地震についても津波についても安全性、
0:21:26	守ってる補修補修性ですね。
0:21:29	申請書において見通しであるとか、
0:21:34	できる可能性があるとか、そういった記載になっていて、結果、計算の内容とかも見ても、やはり不確定な内容、それだけ見てもわからない内容ばかりであるっていうことからすれば、保守的なもっとハード対策、
0:21:50	守るものは守ると。
0:21:52	うん。
0:21:53	水は入れない地震では壊れない。
0:21:56	そういった対応したほうがいいのではないかという、タナカも含めた趣旨だったので、今、
0:22:04	三浦部長からあった通り、不確定な部分を廃止して
0:22:09	説明できる。
0:22:12	しっかり説明できる内容の対策をとるとするのは、方針としてやってるんじゃないかなと思います。
0:22:19	で、
0:22:20	個別にその津波の対策で言うと、
0:22:24	建屋の話は今、地盤改良っていう話で設置
0:22:29	工場安全性の向上が説明できていくんじゃないかなと思うんですけど、我々が指摘した中で
0:22:35	機器の評価の方。
0:22:40	いうとか、
0:22:42	帳その1に対して0.97ですとかそういう説明に対しての
0:22:49	裕度の話があったんですけど、これは理解でいくと、結局、建屋の
0:22:56	耐震性が増していったら床応答が改善すると、機器のほうも改善していくってそういう理解で
0:23:04	よろしいですかね。
0:23:13	もう正直言ってわからないところありますけども、地盤改良では、そのところはそんなに変わらないんじゃないかなと思いますけども、
0:23:22	その0.97問題についてはもう少し御説明を差し上げなきゃいけないんじゃないかな、阿比留です。すいません。

0:23:31	させなきゃいけないんじゃないかなと思うんですがあの場で数字を御説明をするということ自体がいろいろとご心配を招くような数字で、かつえと別途それを踏まえて次の評価があった。
0:23:47	あるわけでそこところの説明もきちんとしてない状況ですので、
0:23:53	改善ワーストすでに見通されてるかできているというような前提でご理解いただければと思います。ですから当然、あのままでいくというようなことではないと。
0:24:06	田中です。わかりましたので、要はその建屋もそうだった機器としての安全性の保守性だとか、そういった説明っていうのが工事をしていくっていう対策をして欲しいですし、そこが、
0:24:22	技術的に説明が今のままでできるのかどうかっていうのはないですけど、そこも含めてハード対策っていうのは結局、建屋が改善しても聞かはずあまり変わりませんっていうのが今の技術的な資料を
0:24:38	とにかく詳細に説明をさせていただきっていう方針になるのか、そちらの川の数値もよくなっていくので、そもそも今言ったような保守性の話っていうのがあまりいい気にしなくてよくなっていくのかっていうところも、
0:24:53	後程、後日でいいんですけど、御説明いただきたいなというところがあります。
0:25:04	地盤改良の話でミウラです。地盤改良の話を改造として改造といいますか依然として差上げた主な点っていうのは設置率のところ、その振動特性についてどう変わるかということですね私もちんと御説明できないんですけども、当然その
0:25:24	いろんな機器、先ほどのおっしゃられた今までの評価、また説明して範囲内かだけでも、そこを定例記者説明させていただきという部分はあるのではないかと思います。
0:25:38	あと一つ申し上げたいのは、やはり既存の施設ですので、どこまでいじるのがいいのかっていうところがございます。これについてはやはり
0:25:53	やればできるっていうこと何でもやるかどうかというところは多分見て審査される科学の目から見ても、やり過ぎだろうというようなところがある、あるかもしれないし、我々もそこは判断をしてこの辺りなんじゃないかなっていうところは出てくると思います。そのときに、
0:26:10	やっぱり残る残る問題に対してどう対応するかとそこは我々きちんと説明させてあげさし上げなきゃいけないところだと思ってますんで、その極端なければ、いろいろやったぜ。もうとにかくできることは全部やったら、でもやっぱり浸水考えたほうがいいんじゃないかっていうのは、
0:26:25	当然あるんじゃないかと思っていて、そこは結局そこに行き着くのかな。私自身のHow施設を見てきた経験の中でも、今、今きたらどうすんだ。

0:26:39	ということを割とこう考えて、実は一定で
0:26:45	真水が入った一番やんなきゃいけないことはちゃんと冷却機能を維持することだろうなっていうことはできますISOの問題もあるでって話で、そこからササキ移行困るのはさて取りあえず汚水たぞっていうときに水をするだけという、そのところは確かに難しい問題があっと思ってますけれども、そのところは水が
0:27:05	要請しているのかとか、或いはどっかに何か作らないかということを考えていくっていうことは、今はしなきゃいけないんで、多分そういったことをある程度どこまで考えておけるかということかなということですよ。それあの、審査の中のプロセスのという部分になるのかちょっと私もわかりませんが、
0:27:22	今、今必要なことかなというふうに思ってます。
0:27:26	規制庁ホソノです今皆さんおっしゃったのが罵倒得ていて、次の廃措置計画認可の補正をされる時にですね、今どうするんだ、この後どうするかなんですね、この後どうするんだということだけに着目してますけれども、やっぱり今どうするんだということも当然廃止措置計画の中に入ってくる。
0:27:45	ということだと思います。だから、そのイメージすごく正しくて、その今どうするんだっていうのがちょっと欠けてないですよ。
0:27:53	時点で人ってなるなっちゃってるのが僕らなんですねだんだんその不信感がお互いにはまってきてですね、冒頭特産から不況勝てるかもしれないし、だからあれなんですけど、その
0:28:14	やっぱりね。
0:28:16	今どうするんだって、これからどうするんだって言ったときに、やはり今皆さんおっしゃったように僕はそのベネフィットってすごく大事だと思っていて、その廃止措置なので、恒久的な措置を使う講じる必要もないんですよ。それがじゃあ難燃なんだとか、そこら辺のその説得材料というのが、
0:28:33	今現在の廃止措置計画では12年、12.5年かかるものに対して8年の工期だから、
0:28:40	何とかありませんかねっていうような申請書になっているという今出ているものはですよ、今出ているものと、
0:28:46	もうこれもその時点で、うんとなるわけです。一応僕らもそれなりの経験を積んでいるので、さすがに地盤改良でね、時3年かかりますというのはまあまあそれはマックス医師も8年中のはねだろうという感じになってくるんですがそれはその予算の都合もあるのかもしれないし、そこら辺の話がですねよくわからなかったと。

0:29:04	よくわからなかったんだけど、前回の会合で足りてますと、人もいますというふうに言われちゃうと、じゃあ何なんだろうかという話になってくるっていうのが、いろいろこういうさせる原因かなっていう気もします。ですので、そのハードウェア対策だけではどうやってか、今あるものをどう守るかという話。
0:29:20	これ多分ソフトやるしかないし、今ある設備でやるしかないんでそれも廃止措置計画でしっかり書いていただいて、まず有効性の評価をしていただきたいと、その結果も含めて我々にお出しいただきたいと、これがまず一つ今どうするのかについては、今後どうするのかというのは、
0:29:36	皆さんがおっしゃったような方向で技術的に検討されてるんであれば、その方向性を3月にお出しいただくと、その時にある程度技術的な見極めをしていただくと、より説得力が増すでしょうと、そういうことなのかなと思います。ただし、我々、
0:29:53	死にゆく設備に対して、新規性基準を求めてないということをイコール
0:29:59	それなりの合理性があれば、
0:30:02	ということだと思ってますので、やり過ぎを止める気もないですけども、大体ここまでやってないですね過剰にオーバーシュートするっていうのは大体4の組織の詰めをそれはそれでやるとこやっていたいただければと思いますけども、その
0:30:19	何ですかねその僕らやっぱり一番心配なのですね。
0:30:23	何か結果出していないと何がしかの計画しかないタブ
0:30:28	そうそう指針じゃじゃないかと思っていて、
0:30:31	誰がボールはもう10見てて横文字と比較をさせていただきますけども、もんじゅもう初生は所詮なんですよ、そんなにドラスティックに変わらないですかわからないんですけども、彼ら結果出してるんです。
0:30:45	それも
0:30:47	人がかわってから結果が出る残念で話し展開になっていて、
0:30:52	もう1回炉注走ってるわけじゃないんだけど、
0:30:55	なんてカラムムードが良くなってるといいうそいったところを多分理事長男ですんねお感じになられても値に行っていこうといったのかなと思ってますけども、いずれにせよですね、
0:31:09	今板特に技術的な話を整理していくときには、そのベネフィットの話が出てくると思いますので、安全縁を過剰に見積もる必要は我々ないと思ってますのでこれは廃措置ですので、とはいえ高レベル廃液なので、そこそこの安全性を求められると、そこまで求められると。
0:31:30	しっかりした説明も求められるということではあろうかなと思うんですはつきりちょっとまだ言えないんですけども、

0:31:37	ちょっと補足している。
0:31:42	ちょっと中ですが、今のベネフィット・ワンで、ただ、考えを
0:31:47	共通認識しておきたいのは、地震に対してはまず持たせる。
0:31:54	こと。
0:31:55	津波に対してはウエットサイトを防ぐっちゃうのは、
0:31:58	防潮ていうの話になるんで、これは厳しいのかなというふうに思ってます膨張性多分作って、10年20年かかるかもしれない。
0:32:08	ただ
0:32:09	かといってセル内
0:32:11	うんで水が入って対応しますっていうのは、これ我々説明性がないと思ってるんで。
0:32:17	建屋に入れない。
0:32:22	このここのレベルから何を今御合理化が先に合理的な説明ベネフィットを前提に考えると話がまた今まで、今までのように、何か8年でいいですかっていう話8年かかれば、
0:32:39	大丈夫だなんていうふうになっちゃうので、まず、
0:32:44	もたせ自信は持ってません。
0:32:46	現施設な水は施設建屋内には入れない。
0:32:50	ここからここからは、まずできる徹底できないってことでそれをするためにできないものは何かそれをできないものっていうのをきちんと理由を教えてください。
0:33:04	なぜできないのか。
0:33:06	技術的なのか。
0:33:09	期間に関しては、
0:33:11	我々は高レベル廃液を持ってるというふうにはリスクの考え方はまず安全最優先なんですけど、それが、
0:33:19	それこそ20年かかりますって言ったならそれは馬鹿って話あっちゃうと。
0:33:26	すみません、訂正しますば買わないんですけど、そこで期間の話についても、それは本当にそれをどれだけのお金をかけて我々基本的に
0:33:40	期間ですべて
0:33:43	時間がかかれば、もう何もかもしなくていいっていうふうには考えてないので、
0:33:47	それは
0:33:49	20年30年、それは当たり前ですけど。
0:33:53	8年かかるから、
0:33:54	これは、

0:33:56	安全対策はしなくていいっていうふうには考えてないんで。
0:34:04	ですんで、まずここまでで、それからその説明をきちんとしていただいた上で何ができないっていうのを考えていかないと、ちょっとそういう整理を今後して、
0:34:17	まずはそこを守ると。
0:34:19	その上でできないことはないか。
0:34:30	ご指摘の定義ますからそのベネフィットについては理解をしましたスタート地点がわりとはっきりして活動できないことの説明を
0:34:40	でできないからといってちょっとちょっと別の説明をしてしまうとは、
0:34:46	混乱しますのでそこはきちんとわかるように、技術的な点については説明することになり
0:34:53	したいと思います。
0:35:08	すみません、規制庁のコマイです。先ほどいただいたお話の中で地番改良っていうのは効くのか聞かないのかちょっと今日はあんまり明示的なことはおっしゃられてないと思うんですけど、今いただいた報告書ドラフト版とか見ると、こういう周波数はですね。
0:35:26	例えば貯槽なんか 14.1Hzと結構高目なんですね、そういったものに一番改良がどの程度きくのかなっていうのは、今別に答えてんじゃなくて、ちょっとどう、どうなんだろうっていうのちょっとふと思ったので、その辺、今後 3 月とか、
0:35:43	いろいろ整理されてご回答いただけるといいのかなとちょっと思いました。はい。以上です。
0:35:51	ミウラですありがとうございますの御懸念の点は実はあって、かたくなる方向ですので、
0:35:58	こういう振動数が上がるっていうことは頭の中にあります。そこをちょっと伺いたい。
0:40:57	規制庁のホソノです
0:41:01	次回以降ですねこういう議論を密にしていくのは、我々、ほぼし、ある意味監視部で指摘した内容が
0:41:13	機構さんのほうで受け入れられてこういう形でその議論を進めることができたという話だと思いますので、
0:41:20	ぜひですね、次回以降何か合計ご検討されてないよう今そのまま出してくれてか見いだしがと言うと、我々も混乱するし、あれですので、少なくとも若干レジメか何か実施前ぐらい書いていただいて持ってきていただけるとちょっと今日の議論がですね。

0:41:38	復習できるっちゅうかそういうゴミで長々と文章要りませんので、今日のお題赤字で結構ですので、1 ポツと 2 ポツ 3 ポツよっぽどみたいな形でなかなか延べ場でその話すると、何かわけわからなくなってくるときもあるので、
0:41:55	少しそういった感じで 1 枚提供いただけると大変ありがたい。
0:42:00	ちょっと御検討いただければと。
0:42:13	それでは本日規制庁タナカです本日の面談を終了します。ありがとうございました。